

小学校高学年【5・6年生】のみなさんへ

登別市立図書館の「夏休みおすすめ本」リスト【2011年版】

種類	タイトル	著者名	出版社	内容
図書	長くつ下のピッピ 新版	アストリッド・リンドグレン作	岩波書店	世界一強い女の子ピッピのとびきりゆかいな物語。となりの家に住むトミーとアンニカは、ごたごた荘でサルと一緒に自由気ままに暮らしているピッピがうらやましくてなりません。
図書	オランウータンのジプシー—多摩動物公園のスーパーオランウータン—	黒鳥英俊著	ポプラ社	ハーモニカを吹いたり、雑巾掛けをしたりして、多摩動物公園いちばんの人気者、おばあさんオランウータンのジプシー。飼育員である著者が、ジプシーの魅力をたっぷり語った1冊。
絵本	絵で見るおふろの歴史	菊地ひと美文・絵	講談社	昔のおふろは、どんな形をしていて、どんな人が入っていたの？どうくつぶろから、豊臣秀吉(とよとみひでよし)のおふろ、船の銭湯(せんとう)、湯屋、現代(げんだい)のおふろまで、見れば見るほどおもしろい、おふろの歴史を絵でたどっていこう！
図書	天の鹿—童話—	安房直子作 スズキコージ絵	ブッキング	猟師の清十は鹿討ちの名人でした。ある日、清十の前にりっぱな牡鹿が現れました。牡鹿は、命をたすけてくれれば、鹿の市に行き、買い物ができるといい、清十をその市場に連れていきました。
図書	パディントン街へ行く	マイケル・ボンド作 田中琢治訳 松岡享子訳 ペギー・フォートナム画	福音館書店	「ぼく、まだクリスマスのかざりつけは見たことありません、一度も」パディントンの言葉に、ブラウンさん一家の面々はびっくりして、その場にくぎづけになりました。かれが家族の一員になってから、長いことたっているのに、そんな重要なことを見のがしていたなんて。さっそく家族全員で、ロンドンの街のクリスマスかざりを見に出かけました。
図書	だれも知らない小さな国 新版-コロボックル物語 1	佐藤さとる作 村上勉絵	講談社	ぼくは3年生の時、ふしぎな魔物が住むという鬼門山へ行った。以来、そこが好きになり、何度か行くうちにそこに住むコロボックル—小人—と出会い仲よくなる。そして、ついにその山を買い取り、そこを小人の国とする。
図書	リンゴの丘のベッツィー	ドロシー・キャンフィールド・フィッシャー／作	徳間書店	赤ちゃんのときに両親(りょうしん)をなくしたベッツィーは、町にすむ大おばさんのもとで、大切にそだてられました。ところが、9さいになったある日、大おばさんが病気(びょうき)になり、ベッツィーは、いなかの親せきのう場に行くことに。なき虫で人にたよってばかりいたベッツィーは、まったく新しい生活をはじめることになります。…。
図書	煮干しの解剖教室	小林眞理子文 泉田謙写真 こばやしちひろ絵	仮説社	料理に使う「煮(に)干し」を割って見ると、なかになにかがあると思いませんか？煮干しの小さい体のなかには、ちゃんと目やえら、脳や内臓があります。手で割りほぐすだけでできる「煮干しの解剖(かいぼう)」を、たくさん写真で手ほどきします。